

現代ロシア語の音節構造：記述と資料

古賀義顕

1. 音韻的音節の相対的定義

唯一のアクセントによって分離されうる単位を音韻語と呼ぶ¹。音韻語（以下単に語と呼ぶ）には一部の前置詞句も含まれる。例：/nastal'é/ на столе 《机の上に》等。ロシア語のいかなる文（発話は文の実現態である）も語の連続からなる。ロシア語のいかなる語も音韻的音節（以下単に音節と呼ぶ）の連続からなり、音節は音素の連続からなる。いかなる語も音節の連続からなり立っている以上、Kuryłowicz (1960 [1952]) がいうように、「語の始めはつねに音節の始めであり、語の末尾はつねに音節の末尾であるが、その逆は必ずしもなり立たない」²。

ロシア語において語頭に立ちうる非成節音（以下単に子音と呼ぶ）及び子音束を A で、語末に立ちうる子音及び子音束を B で、成節音（以下単に母音と呼ぶ³）を s でそれぞれ表し、欠如しうる要素を括弧で囲むと、最小の音節構造を次のように表せる：As(B)。これは同時に 1 音節からなる語の音節構造である：/já/ я 《私》、/ját/ яд 《毒》等。2 音節以上

¹ 現代ロシア語のアクセント核 (ядер) は強さと長さによって認識されていると私は考える（したがってアクセント核を担わない成節音が、それを担う成節音よりも高いピッチで実現することもありえる）。ロシア語の音韻アクセント素の弁別特徴はアクセント核の位置である。1 音節語にはしたがってアクセント素の対立がない。アクセント核のある音節とない音節をそれぞれ ●, ○ で表すと、*дама* /dáma/ 《婦人》、*мука* /múka/ 《苦しみ》、*пара* /pára/ 《ペア》、*плачу* /pláču/ 《泣く（現在 1 人称単数）》、*руки* /rúkʲi/ 《手（複数主格）》、*стадо* /stáda/ 《群れ（単数主格）》、*стало* /stála/ 《なる（過去中性）》のアクセント素は/●○/、*дома* /damá/ 《家（複数主格）》、*мука* /muká/ 《粉》、*пора* /pará/ 《時》、*плачу* /pláčú/ 《払う（現在 1 人称単数）》、*руки* /rukʲi/ 《手（単数属格）》、*стада* /stadá/ 《群れ（複数主格）》、*стола* /stalá/ 《机（単数属格）》のアクセント素は/○●/であり、両者はアクセント素の差違のみで区別される最小対である。音節数とアクセント素の数はしたがって一致し、同一の音素連続からなる 3 音節の音節語の場合は潜在的には 3 種類のアクセント素 (/●○○/, /○●○/, /○○●/) が対立しうる。本稿ではアクセント素の位置を母音の上の鋭アクセント記号で表す。現代ロシア語におけるいわゆる「副アクセント побочное ударение」に関しての現行の議論には一部混乱が見られるが、私見は他機にゆずる。

² «Nagłos wyrazu jest zawsze nagłosem sylaby, wygłos wyrazu wygłosem sylaby, ale nie odwrotnie.» (ibid.)

³ 現代ロシア語の成節音は母音または二重母音に限られ、流音や鼻音等の鳴音は成節音になりえず、現代ロシア語のいかなる音節も子音で始まると解釈できる（正確に言えば、現代ロシア語をそう解釈してはならない理由は見当たらない）。末尾の【表】を参照のこと（現代ロシア語の音韻体系の解釈については Kora [2001] にゆずる）。

の語または文はこの構造の連続で構成され (As(B)As(B)(As(B))等), A の直前及び/または B の直後には音節境界 (|) がある: As(B)|As(B)|(As(B))等。A の先端の有声阻害音素 (/v/ の場合は直後に有声阻害音素を伴う場合のみ) は B の末端から最初の鳴音ないし/v/までの無声阻害音素を順次対応の有声音素に強制的に交替させる (有声化する) こと¹, 及び, 絶対的語末に立つ場合, B の末端の阻害音は, /jázv/ язв 《潰瘍 (複数属格)》, /r'ézv/ резв 《機敏な (述語形容詞男性形)》及び/tr'ézv/ трезв 《しらふである (同左)》及び/xarúgvⁱ/ хоругвь 《教会旗》等に現れる/z/の直後の/v/と/g/の直後の/vⁱ/を除き, すべて無声であることに注意せよ²。語中子音束を含むその他の子音束はすべて, A でなければBとAの(AとBのではなく)結合であり, この結合の境界は呼気拍の弱まりと強まりの境界に対応している: /'an|tón/ Антон 《(人名)》 i.e. AsB|A^sB, /bán|ka/ банка 《缶; 瓶》 i.e. A^sB|As, /bóm|ba/ бомба 《爆弾》 i.e. A^sB|As, /ba|játⁱ|s'a/ бояться 《恐れる》 i.e. As|A^sB|As, /ván|na|ja/ ванная 《浴室》 i.e. A^sB|As|As, /jim|b'írⁱ/ имбирь 《生姜》 i.e. AsB|A^sB, /kar|mán/ карман 《ポケット》 i.e. AsB|A^sB, /kanⁱ|ják/ коньяк 《コニャック》 i.e. AsB|A^sB, /mlát|s'iu³/ младший 《年下の》 i.e. A^sB|As, /m'íx|k'íu/ мягкий 《やわらかい》 i.e. A^sB|As, /sócⁱ|na/ сочно 《瑞々しく》 i.e. A^sB|As, /sá|xa|ru|brátⁱ/ сахару брать 《砂糖をとる》 i.e. A^s|As|As|A^sB, /sá|xarⁱ'u|brátⁱ/ сахар убрать 《砂糖を片づける》 i.e. A^s|AsB|As|A^sB, /sa|bá|ku|gná|p'i/ собаку гнали 《犬は追われていた》 i.e. As|A^s|As|A^s|As, /sa|bákⁱ'u|gná|p'i/ собак угнали 《犬達は追いやられた》 i.e. As|A^sB|As|A^s|As 等々⁴。ここでの音節の理解に基づけば, 音節構造の記述は音節境界の記述であり, 音節境界の記述はA, Bのそれぞれの構造記述と同義となる。

こうした音節把握もまだ十分とはいえず, ここでの作業的理解に基づいてもなお, /c'úfstva/ чувство 《気持ち》 (ぞんざいなスタイルでは/c'ústva/) 等の語は複数の分析を許容し, /druz'já/ друзья 《友達》 等のような例は分析されえない。語中にしか現れない子音束を

¹ 私は無声阻害音/c cⁱ x/及び二重子音/cⁱ/には対応の有声項を音素として設定していないが, これらの子音もこの環境では音声レベルで有声化し, それぞれ概略[dz d₃ ɣ ʒ]として実現する (つまり, ロシア語では[dz d₃ ɣ ʒ]という音は予測しえない位置には現れない)。/xⁱ/で終わる語は現時点で未確認である。

² ロシア語の遠隔逆行同化については Kora (2002) にゆずる。

³ 従来の拙稿 (Kora 2001; 2002) で二重母音の表示に用いた上付きのスラーを本稿ではすべて下付きに変えてあるが, これは単に印刷の便宜上鋭アクセント記号と重ならないようにするためである。

⁴ 私の理解では, 例えば/k'ól'e/ к Оле 《オーリャの方へ》等といった前置詞を含む形式も音韻的には一語であり, /k'/という子音束がその語頭に現れている以上, 厳密に考えれば《犬達は追いやられた》は/sa|bá|k'u|gná|p'i/と区切る以外にないのだが, この分節が話者の慣習に見合うという保証はない。

も記述する必要があるのかもしれない¹。これはいいかえれば、そうした子音束の場合にかぎり、その直前（あるいはその内部のどこ）で区切るのが話者の内省に見合っているかを別途観察記述してさえおけば従来の「聞こえ度 (звучность; сонорность)」という尺度（概念）が不要になる，ということでもあるが，もっとも妥当な音節境界を決定するのは現時点ではロシア語生得話者の自然な印象または直観以外になく，それは外部観察者には間接的にしか窺い知れない²。いずれの場合にも話者の直観及び調音運動の観察を「聞こえ度」等の後付けの論理に優先させるべきであると私は考える。ロシア語を母語とする研究者による主観的な（「意味」をあえて無視したうえで）観察を待つ。

2. 資料の性格

かりに上のように定義された現代ロシア語の音節構造と音節境界を網羅的に記述するには既成の諸ロシア語辞書を参照するのが便利である。ここではまず主として東郷編(1988)を参照して語頭の，Топоров(1971)及びЗализняк(1977)を参照して語末の，またДмитренко(1985: 202-16)を参考にして両者の，それぞれ「子音字母」の束を個々に抜きだしてリストを作成し，次にロシア語話者がそれらの語を知っている場合のみこれを発音してもらい，語頭子音束と語末子音束のそれぞれ音素表記によるリストを作成した³。語末子音束を収集する際には，特に中性名詞と女性名詞の複数属格の形式について，実際に用いるかどうかを確認した⁴。

/fsl'ét/ вслед 《～に続いて》，/kpr'ér'id'i/ кпереди 《前方へ》等の例は，正書法では1語として扱われてはいるが，ここでは仮に前置詞と名詞の結合とみなしてリストから除いた。また，略語の音節構造については別途考察するべきものとしてこれを排し，使用頻度，知名度ともに低いと思われる特殊な「外来語」や固有名詞も避けた。さらに，「ふつう」の話者が

¹ 私の観察では，故意にゆっくり発音する場合，インフォーマントはこれらの語を/dzúf|stva/，/druz|já/と区切り，かつ後者の場合，/z/の音が弱まり，無声の[z']ないし有声の[s']として実現することがある。

² その他，印刷上，単一の異形態内の子音連続が行間にまたがる場合の分綴(перенос)に関する編集校正上の規則及びその規則に対する話者側の違和感の有無等も音節境界の位置の間接的な指標になるはずである。別途調べる余地がある。

³ 音声資料の収集に当たっては右のロシア語話者の貴重なご協力を得た：Н. С. Ш.氏，Е. Н. Я.氏。御礼申しあげる次第である。Н. С. Ш.氏の言語歴についてはКора(2001)に記した。Е. Н. Я.氏はН. С. Ш.氏とほぼ同い歳の女性で，生粋のмосквичである(Москва在住)。本稿で「ロシア語」という場合，この方々が日常用いている話しことばをさす。ついでながら，英文要旨を閲して下さったProf. Dr. J. I. P.氏のご厚意にも御礼申しあげる。いうまでもなく(要旨を含め)本稿の記述のいかなる細部についても責任は私にある。

⁴ したがって当該語の複数形の有無等は，これら参考文献の記載とは必ずしも一致しない。

実際にしばしば用いる積極的な「活用語」と、聞けば意味も分かり発音できるが日常ではほとんど使用しないであろう受動的な「理解語」も本稿では区別していない。もとより徹底的な方針のある裁定ではないため、このリストにおける語彙項目の選択は見落としも含めてひとえに私の責任におけるまったくの恣意であるともいえるが、このリストは現代ロシア語に現れる子音束のおそらく大部分を網羅していると思う。

3. 子音束の記述方法

上の仕方で収集した子音束を【付録】に示してある。【付録】では各子音束の先端を基準に配列してある。先端から見た場合にしか明らかにならない特徴もあるからである。逆に以下では語頭子音束、語末子音束のそれぞれ末端を基準に記述し、実質的に逆引き配列になっている。先端と末端のいずれを基準にしても、まったく同一の結果が得られる以上、いずれを基準にすれば記述がより簡潔になるかが問題になるが、現時点では私は、いずれにしても音韻論的なレベルでは同じであると考え。各語彙項目の形態音韻表示から形態音韻論規則によって子音束を演繹的に導き出す方法を採用すれば子音束の記述も著しく簡素になるものと私は推測しているが、ここでは音韻的音節の構造の考察に焦点を当てるため、あえて音素レベルでの記述に固執した¹。

4. ロシア語の子音束

ロシア語の子音束は単一の子音によって、または複数の子音の連続によって、構成される。子音をCで表すと、子音一つによって表現される前置詞 k, c, B の異形態（それぞれ/k~/g/, /s~/z/, /f~/v/）が先行しない場合、語頭子音束は C, CC, CCC, CCCC, CCCC のいずれかであり、語末子音束は φ（ゼロ）、C, CC, CCC, CCCC, CCCCC のいずれかである。語頭子音束における4子音連続の第1第、2子音になりうるのは、それぞれ/fv/, /sz/のみであり、第3子音は閉鎖音または摩擦音、第4子音は流音のみである。語末子音束における4子音

¹ 例えば語頭子音束の場合、「(1)p b t d k g/の直前、及び(1)と/r r' l l'/の結合の直前には(2)f v/, (3)s z/, (4)ʃ ʒ/及び(2)と(3)の結合が現れうる」等という風に記述していくほうが一見簡潔にも思えるが、この「規則」には例外も多く、もとよりこの記述によってすべての語頭子音束が網羅されるわけでもないため、最終的にはここでの羅列的な記述とほぼおなじ程度の複雑さになるものと私は予想している。「ロシア語の最大の語頭子音束は/fspr- fsprⁱ- fspl- fsplⁱ- fstr- fstrⁱ- fskr- fskrⁱ- fskl- fsxr- fsxlⁱ- vzbⁱ- vzdr- vzdrⁱ- vzgr- vzgrⁱ- vzgⁱ-/であり、これらの子音束から任意の1~3子音を取り除いて残る子音束（ないし子音）も語頭子音束として現れうる」等といったさらに別のテンプレートを用いても事情は大差はないだろう。子音束の形態音韻論的な記述については Kora (2002) で一部扱った。

連続及び5子音連続の末端から数えて最初の子音になりうるのは/f/のみであり、第2子音は/t/、第3子音は/s/のみである。

ロシア語の次の子音及び子音類には配列上次のような一般的制限がある。/v vʲ/の直前には無声阻害音が立ちうるが (/svóy/ 《自分の》)、それ以外の場合、有声阻害音と無声阻害音が並ぶことはなく、阻害音の連続はすべて、子音束末端から数えて最初の阻害音に声の有無の点で一致する。/kʲ gʲ xʲ j/は語頭子音束にのみ現れ、/ʲ/は単独で現れる以外はいかなる子音束にも加わらない。/j/は他の子音によって後続されない。同一子音の連続は語頭子音束の/vv vvʲ ss ssʲ zz/, 語末子音束の/mm/に限られる。語頭子音束の先端が/kʲ gʲ fʲ sʲ zʲ xʲ mʲ nʲ/である場合、その直後に子音は続かない。語頭子音束の先端が/pʲ bʲ dʲ vʲ rʲ/である場合、その直後には/j/しか続かない。語頭子音束の先端が/c/である場合、その直後には/vʲ/しか続かない。語頭子音束の先端が/n/である場合、その直後には/r/しか続かない。さらに、子音束の末端から見た場合、現代ロシア語の音節は各子音による以下の117種の構造的振舞いによって特徴付けられていると考えることができる¹。

4.1. 語頭子音束

4.1.1. 語頭子音束の末端が閉鎖音である場合

末端が(1)/p pʲ/である場合、その直前には(2)/f s ʃ/しか現れない：/fp- sp- ʃp- fpʲ- spʲ- ʃpʲ-/。末端が(3)/b/である場合、その直前には(4)/v z ʒ l/しか現れない：/vb- zb- ʒb- lb-/。末端が(5)/bʲ/である場合、その直前には(6)/v z l/しか現れない：/vbʲ- zbʲ- lbʲ-/。(7)/p pʲ b bʲ/の直前に(8)/s z/が立つ場合、その直前に(9)/f v/が立ちうる：/fsp- fspʲ- vzb- vzbʲ-/。

末端が(10)/t/である場合、その直前には(11)/k f s ʃ cʲ r/しか現れない：/kt- ft- st- ʃt- rt- cʲt-/。(10)/t/の直前に(12)/s/が立つ場合、その直前に(13)/f/が立ちうる：/fst-/。末端が(14)/tʲ/である場合、その直前には(15)/p f s ʃ cʲ r/しか現れない：/ptʲ- ftʲ- stʲ- ʃtʲ- cʲtʲ- rtʲ-/。(10)/t/の直前に(12)/s/が立つ場合、その直前に(16)/ʲ m/が立ちうる：/ʲstʲ- mstʲ-/。末端が(17)/d/である場合、その直前には(18)/v z ʒ m ʲ/しか現れない：/vd- zd- ʒd- md- ʲd-/。末端が(19)/dʲ/である場合、その直前には(20)/b g v z ʒ m r ʲ/しか現れない：/bdʲ- gdʲ- vdʲ- zdʲ- ʒdʲ- mdʲ- rdʲ- ʲdʲ-/。(21)/dʲ/の直前に(22)/z/が立つ場合、その直前に(23)/v m/が立ちうる：/vzd- mzd- vzdʲ- mzdʲ-/。

末端が(24)/k/である場合、その直前には(25)/t f s ʃ cʲ/しか現れない：/tk- fk- sk- ʃk- cʲk-/。(24)/k/の直前に(12)/s/が立つ場合、その直前に(26)/f p/が立ちうる：/fsk- psk-/。末端が(27)/kʲ/である場合、その直前には(28)/f s ʃ t/しか現れない：/fkʲ- skʲ- ʃkʲ- tkʲ-/。(27)/kʲ/の直前に(12)/s/

¹ 例えば Bloomfield (1984: 134) の記述によれば、現代英語の音節を特徴付けているのは38種の子音のセットであり、この数自体はここでの現代ロシア語の約30%に当たる。Bloomfield (同書132-4頁) は語末子音束の記述の際に、(語頭の場合とは異なり) 今日でいう形態音韻論を加味しているため単純な比較はできないが、おおむね妥当な比率ではないかと思う。

が立つ場合、その直前に(13)/f/が立ちうる：/fskⁱ-/。末端が(29)/g/である場合、その直前には(30)/v z ʒ l ʃ/しか現れない：/vg- zg- ʒg- lg- ʃgⁱ-/。(24)/k/の直前に(22)/z/が立つ場合、その直前に(31)/v/が立ちうる：/vzg-/。末端が(32)/gⁱ/である場合、その直前には(4)/v z ʒ l/しか現れない：/vgⁱ- zgⁱ- ʒgⁱ- lgⁱ-/。

4.1.2. 語頭子音束の末端が摩擦音である場合

末端が(13)/f/である場合、その直前には(33)/tⁱ s/しか現れない：/tⁱf- sf-/。末端が(34)/ʃ/である場合、その直前には(12)/s/しか現れない：/sʃⁱ-/。末端が(31)/v/である場合、その直前には(35)/t d k g s z ʒ ʒ v x cⁱ r ʃ/しか現れない：/tv- dv- kv- gv- sv- zv- ʃv- ʒv- vv- xv- cⁱv- rv- ʃvⁱ-/。(31)/v/の直前に(36)/t x/が立つ場合、その直前に(12)/s/が立ちうる：/stv- sxv-/。(31)/v/の直前に(24)/k/が立つ場合、その直前に(37)/s ʃ/が立ちうる：/skv- ʃkv-/。末端が(38)/vⁱ/である場合、その直前には(39)/t d k v s z c r ʃ/しか現れない：/tvⁱ- dvⁱ- kvⁱ- vvⁱ- svⁱ- zvⁱ- cvⁱ- rvⁱ- ʃvⁱ-/。(38)/vⁱ/の直前に(24)/k/が立つ場合、その直前に(12)/s/が立ちうる：/skvⁱ-/。(40)/v vⁱ/の直前に(17)/d/が立つ場合、その直前に(41)/v z/が立ちうる：/vdv- zdv- vdvⁱ- zdvⁱ-/。(40)/v vⁱ/の直前に(22)/z/が立つ場合、その直前に(31)/v/が立ちうる：/vzv- vzvⁱ-/。

末端が(12)/s/である場合、その直前には(42)/p f s/しか現れない：/ps- fs- ss-/。末端が(43)/sⁱ/である場合、その直前に(44)/p k f s/が立ちうる：/psⁱ- ksⁱ- fsⁱ- ssⁱ-/。末端が(22)/z/である場合、その直前には(41)/v z/しか現れない：/vz- zz-/。末端が(45)/zⁱ/である場合、その直前には(46)/b v/しか現れない：/bzⁱ- vzⁱ-/。

末端が(47)/ʃ/である場合、その直前には(48)/p f s m/しか現れない：/pʃ- fʃ- sʃ- mʃ-/。末端が(49)/ʒ/である場合、その直前には(50)/g v z ʒ r l/しか現れない：/gʒ- vʒ- zʒ- ʒʒ- rʒ- lʒ-/。(49)/ʒ/の直前に(51)/r/が立つ場合、その直前に(52)/p k/が立ちうる：/prʒ- krʒ-/。

末端が(53)/x/である場合、その直前には(54)/p k f s m/しか現れない：/px- kx- fx- sx- mx-/。(53)/x/の直前に(12)/s/が立つ場合、その直前に(13)/f/が立ちうる：/fsx-/。末端が(55)/xⁱ/である場合、その直前には(56)/s m/しか現れない：/sxⁱ- mxⁱ-/。

4.1.3. 語頭子音束の末端が破擦音である場合

末端が(57)/c/である場合、その直前には(58)/s f/しか現れない：/sc- fc-/。末端が(59)/cⁱ/である場合、その直前には(60)/p f m/しか現れない：/pcⁱ- fcⁱ- mcⁱ-/。

4.1.4. 子音束の末端が鼻音である場合

末端が(61)/m/である場合、その直前には(62)/tⁱ g v s ʒ ʒ x cⁱ/しか現れない：/tⁱm- gm- vm- sm- ʃm- ʒm- xm- cⁱm-/。(22)/z/は直前に(31)/v/が立つ場合のみ(61)/m/の直前に立ちうる：/vzm-/。末端が(63)/mⁱ/である場合、その直前には(64)/t tⁱ dⁱ v s z ʒ ʒ x/しか現れない：/tmⁱ- tⁱmⁱ- dⁱmⁱ-/。

vm^j- sm^j- zm^j- ʃm^j- ʒm^j- xm^j-/. /m m^j/の直前に(8)/s z/が立つ場合、その直前に(9)/f v/が立ちうる : /fsm- vzm- fsm^j- vzm^j-/。

末端が(65)/n/である場合、その直前には(66)/p d k g v s z ʃ ʒ x m ɲ/しか現れない : /pn- dn- kn- gn- vn- sn- zn- ʃn- ʒn- xn- mn- ɲn-/. (65)/n/の直前に(29)/g/が立つ場合、その直前に(67)/z m/が立ちうる : /zgn- mgn-/. (65)/n/の直前に(22)/z/が立つ場合、その直前に(31)/v/が立ちうる : /vzn-/. (65)/n/の直前に(53)/x/が立つ場合、その直前に(68)/p/が立ちうる : /pxn-/. 末端が(69)/n^j/である場合、その直前には(70)/p d k g v s z ʃ ʒ x m ɲ/しか現れない : /pn^j- dn^j- kn^j- gn^j- vn^j- sn^j- ʃn^j- ʒn^j- mn^j- ɲn^j-/. (53)/x/は直前に(68)/p/が立つ場合のみ(69)/n^j/の直前に立ちうる : /pxn^j-/. (69)/n^j/の直前に(29)/g/が立つ場合、その直前に(22)/z/が立ちうる : /zgn^j-/. (71)/n^j/の直前に(24)/k/が立つ場合、その直前に(10)/t/が立ちうる : /tkn- tkn^j-/。

4.1.5. 子音束の末端が震え音である場合

末端が(51)/r/である場合、その直前には(72)/p b t d k g f v s z ʃ ʒ x m n/しか現れない : /pr- br- tr- dr- kr- gr- fr- vr- sr- zr- ʃr- ʒr- xr- mr- nr-/. (51)/r/の直前に(73)/p b t d k g/が立つ場合、その直前に(74)/f v s z/が立ちうる : /fpr- vbr- ftr- vdr- fkr- vgr- spr- zbr- str- zdr- skr- zgr-/. (51)/r/の直前に(22)/z/が立つ場合、その直前に(31)/v/が立ちうる : /vzr-/. (51)/r/の直前に(53)/x/が立ち、その直前に(12)/s/が立つ場合は必ずその直前に(13)/f/を伴う : /fsxr-/. (51)/r/の直前に(61)/m/が立つ場合、その直前に(12)/s/が立ちうる : /smr-/。

末端が(75)/r^j/である場合、その直前には(76)/p b t d k g f v s z ʃ ʒ x c^j m/しか現れない : /pr^j- br^j- tr^j- dr^j- kr^j- gr^j- fr^j- vr^j- sr^j- zr^j- ʃr^j- ʒr^j- xr^j- c^jr^j- mr^j-/. (75)/r^j/の直前に(77)/p t k/が立つ場合、その直前には(78)/f s/が立ちうる : /fpr^j- ftr^j- fkr^j- spr^j- str^j- skr^j-/. (75)/r^j/の直前に(3)/b/が立つ場合、その直前には(22)/z/が立ちうる : /zbr^j-/. (75)/r^j/の直前に(8)/s z/が立つ場合、その直前に(9)/f v/が立ちうる : /fsr^j- vZR^j-/. (79)/r r^j/の直前に(80)/p t/が立つ場合、その直前に(47)/ʃ/が立ちうる : /ʃpr- ʃtr- ʃpr^j- ʃtr^j-/. (79)/r r^j/の直前に(81)/p t d k g/が立ち、その直前に(8)/s z/が立つ場合、その直前に(9)/f v/が立ちうる : /fspr- fstr- vzdr- fskr- vzgr- fspr^j- fstr^j- vzdr^j- fskr^j- vzgr^j-/。

4.1.6. 子音束の末端が接近音である場合

末端が(82)/l/である場合、その直前には(83)/p b d k g f v s z ʃ ʒ x m/しか現れない : /pl- bl- dl- kl- gl- fl- vl- sl- zl- ʃl- ʒl- xl- ml-/. (82)/l/の直前に(68)/p/が立つ場合、その直前に(78)/f s/が立ちうる : /fpl- spl-/. (82)/l/の直前に(68)/p/が立ち、その直前に(12)/s/が立つ場合、その直前に(13)/f/が立ちうる : /fsp-/. (82)/l/の直前に(24)/k/が立つ場合、その直前に(2)/f s ʃ/が立ちうる : /fkl- skl- ʃkl-/. (82)/l/の直前に(24)/k/が立ち、その直前に(12)/s/が立つ場合、その直前に(13)/f/が立ちうる : /fskl-/. (82)/l/の直前に(29)/g/が立つ場合、その直前に(84)/v z ʒ m/が立ちうる : /vgl- zgl- ʒgl- mgl-/. (82)/l/の直前に(8)/s z/が立つ場合、その直前に(9)/f v/が

立ちうる：/fsl- vzl-/。(10)/t/はその直前に(12)/s/が立つ場合のみ(82)/l/の直前に立ちうる：/stl-/。(82)/l/の直前に(53)/x/が立つ場合、その直前に(12)/s/が立ちうる：/sxl-/。末端が(85)/l/である場合、その直前には(86)/p b t d k g f v s z ʃ x cʲ m/しか現れない：/plʲ- blʲ- tlʲ- dlʲ- klʲ- glʲ- flʲ- vlʲ- slʲ- zlʲ- ʃlʲ- xlʲ- clʲ- mlʲ-/。(85)/l/の直前に(3)/b/が立つ場合、その直前に(22)/z/が立ちうる：/zblʲ-/。(85)/l/の直前に(52)/p k/が立つ場合、その直前に(74)/f v s z/が立ちうる：/fplʲ- fklʲ- splʲ- sklʲ-/。(85)/l/の直前に(29)/g/が立つ場合、その直前に(87)/v ʒ m/が立ちうる：/vglʲ- ʒglʲ- mglʲ-/。(85)/l/の直前に(22)/z/が立つ場合、その直前に(31)/v/が立ちうる：/vzlʲ-/。(85)/l/の直前に(88)/b g p x/が立ち、その直前に(8)/s z/が立つ場合、その直前に(9)/f v/が立ちうる：/vzblʲ- vzglʲ- fspʲ- fsxlʲ-/。

4.1.7. 語頭子音束の末端が二重子音である場合

末端が(89)/tʃ/である場合、その直前には(90)/t m lʲ/しか現れない：/tʃʲ- mʃʲ- lʲʃʲ-/。

4.1.8. 語頭子音束の末端が特徴子音である場合

末端が(91)/j/である場合、その直前には(92)/pʲ bʲ dʲ v vʲ s z ʃ cʲ rʲ lʲ/しか現れない：/pjʲ- bjʲ- djʲ- vjʲ- vʲjʲ- sjʲ- zjʲ- ʃjʲ- cjʲ- rʲjʲ- lʲjʲ-/。(22)/z/は直前に(31)/v/を伴う場合にのみ(91)/j/の直前に立つ：/vzjʲ-/。

4.2. 語末子音束

4.2.1. 語末子音束の末端が閉鎖音である場合

末端が(68)/p/である場合、その直前には(93)/tʲ sʲ ʃ m r lʲ/しか現れない：/-tʲp -sp -sʲp -ʃp -mp -rp -lp -lʲp/。末端が(94)/pʲ/である場合、その直前には(75)/rʲ/しか現れない：/-rʲpʲ/。

末端が(10)/t/である場合、その直前には(95)/k f s ʃ x cʲ m n r lʲ/しか現れない：/-kt -ft -st -ʃt -xt -cʲt -mt -nt -rt -lt -lʲt/。(10)/t/の直前に(24)/k/が立つ場合、(24)/k/の直前に(65)/n/が立ちうる：/-nkt/。(10)/t/の直前に(12)/s/が立つ場合、(12)/s/の直前に(96)/k l/が立ちうる：/-kst -lst/。末端が(14)/tʲ/である場合、その直前には(97)/f s ʃ r lʲ/しか現れない：/-ftʲ -stʲ -ʃtʲ -rtʲ -ltʲ -lʲtʲ/。(14)/tʲ/の直前に(12)/s/が立つ場合、(12)/s/の直前に(51)/r/が立ちうる：/-rstʲ/。

末端が(24)/k/である場合、その直前には(98)/s n r lʲ/しか現れない：/-sk -nk -rk -lk/。(24)/k/の直前に(12)/s/が立つ場合、(12)/s/の直前に(99)/t m n r/が立ちうる：/-tsk -msk -nsk -rsk/。(24)/k/の直前に(12)/s/が立ち、(12)/s/の直前に(61)/m/が立つ場合、(61)/m/の直前に(82)/l/が立ちうる：/-lmsk/。

4.2.2. 語末子音束の末端が摩擦音である場合

末端が(13)/f/である場合、その直前には(100)/t k ʃ cʲ m r lʲ/しか現れない：/-tf -kf -ʃf -cʲf -mf -rf -lʲf/。(53)/x/はその直前に(82)/l/が立つ場合のみ(13)/f/の直前に立ちうる：/-lxf/。(13)/f/の直前に(10)/t/が立つ場合、その直前に(101)/s r/が立ちうる：/-stf -rtf/。(13)/f/の直前に(10)/t/

が立ち、(10)/t/の直前に(12)/s/が立つ場合、その直前に(102)/f p t k m n r l ʃ/が立ちうる：/-fstf -pstf -tstf -kstf -mstf -nstf -rstf -ʃstf/。(13)/f/の直前に(10)/t/が立ち、(10)/t/の直前に(12)/s/が立ち、(12)/s/の直前に(10)/t/が立つ場合、その直前に(65)/n/が立ちうる：/-ntstf/。末端が(34)/f/である場合、その直前には(103)/t r l/しか現れない：/-tʃⁱ -rʃⁱ -lʃⁱ/。末端が(31)/v/である場合、その直前には(22)/z/しか現れない：/-zv/。末端が(38)/vⁱ/である場合、その直前には(29)/g/しか現れない：/-gvⁱ/。

末端が(12)/s/である場合、その直前には(104)/p k m n r l ʃ/しか現れない：/-ps -ks -ms -ns -rs -ls -ʃs/。末端が(43)/sⁱ/である場合、その直前には(105)/r ʃ/しか現れない：/-rsⁱ -ʃsⁱ/。

末端が(47)/ʃ/である場合、その直前には(106)/f k n r l ʃ/しか現れない：/-fʃ -kʃ -nʃ -rʃ -ʃʃ/。

末端が(53)/x/である場合、その直前には(107)/t r/しか現れない：/-tx -rx/。

4.2.3. 語末子音束の末端が破擦音である場合

末端が(57)/c/である場合、その直前には(108)/ʃ n r l ʃ/しか現れない：/-ʃc -nc -rc -lʃc/。末端が(59)/cⁱ/である場合、その直前には(109)/n r l/しか現れない：/-ncⁱ -rcⁱ -lcⁱ/。

4.2.4. 語末子音束の末端が鼻音である場合

末端が(61)/m/である場合、その直前には(110)/t dⁱ g f v z ʒ x m r l ʃ/しか現れない：/-tm -dⁱm -gm -fm vm zm zm xm mm rm lm ʃm/。末端が(63)/mⁱ/である場合、その直前には(75)/rⁱ/しか現れない：/-rⁱmⁱ/。

末端が(65)/n/である場合、その直前には(111)/z m r l/しか現れない：/-zn -mn -rn -ln/。末端が(69)/nⁱ/である場合、その直前には(112)/s z r/しか現れない：/-snⁱ -znⁱ -rnⁱ/。

4.2.5. 語末子音束の末端が震え音である場合

末端が(51)/r/である場合、その直前には(113)/p b t d k g f v m n/しか現れない：/-pr -br -tr -dr -kr -gr -fr -vr -mr -nr/。(51)/r/の直前に(3)/b/が立つ場合、その直前に(61)/m/が立ちうる：/-mbr/。(51)/r/の直前に(10)/t/が立つ場合、その直前に(114)/s n/が立ちうる：/-str -ntr/。(51)/r/の直前に(10)/t/が立ち、その直前に(12)/s/が立つ場合、その直前に(65)/n/が立ちうる：/-nstr/。(51)/r/の直前に(17)/d/が立つ場合、その直前に(65)/n/が立ちうる：/-ndr/。(51)/r/の直前に(24)/k/が立つ場合、その直前に(12)/s/が立ちうる：/-skr/。末端が(75)/rⁱ/である場合、その直前には(115)/p b t x/しか現れない：/-prⁱ -brⁱ -trⁱ -xrⁱ/。

4.2.6. 語末子音束の末端が接近音である場合

末端が(82)/l/である場合、その直前には(116)/p b t d k g s z ʃ x r/しか現れない：/-pl -bl -tl -dl -kl -gl -sl -zl -ʃl -xl -rl/。(82)/l/の直前に(24)/k/が立つ場合、その直前に(12)/s/が立ちうる：/-skl/。(82)/l/の直前に(53)/x/が立つ場合、その直前に(10)/t/が立ちうる：/-txl/。末端が(85)/ʃ/

である場合、その直前には(117)/p b k g v s m/しか現れない：-/pʲ -bʲ -kʲ -gʲ -sʲ -vʲ -mʲ/。
 (85)/ʲ/の直前に(3)/b/が立つ場合、その直前に(61)/m/が立ちうる：-/mbʲ/。

【表】現代ロシア語の音素（47音素）

1. 成節音（母音）体系：10音素

	非後母音				後母音	
	前母音		非前母音		単母音	二重母音
	単母音	二重母音	単母音	二重母音		
狭母音	/e/	/eʲ/	/ɪ/	/ɪʲ/	/u/	/uʲ/
広母音	/a/	/aʲ/	/o/	/oʲ/		

2. 非成節音（子音）体系：37音素

		唇音		唇歯音		齒茎音		口蓋音		軟口蓋音	
		/無声//有声/		/無声//有声/		/無声//有声/		/無声//有声/		/無声//有声/	
阻害音	閉鎖音	/硬音/	/p/ /b/			/t/ /d/			/k/ /g/		
	——	/軟音/	/pʲ/ /bʲ/			/tʲ/ /dʲ/			/kʲ/ /gʲ/		
摩擦音		/硬音/		/f/ /v/		/s/ /z/	/ʃ/ /ʒ/		/x/		
	——	/軟音/		/fʲ/ /vʲ/		/sʲ/ /zʲ/			/xʲ/ ([ç])		
破擦音		/硬音/				/c/ ([ts])					
	——	/軟音/				/cʲ/ ([tʃ])					
鳴音	鼻音	/硬音/	/m/			/n/					
	——	/軟音/	/mʲ/			/nʲ/					
震え音		/硬音/				/r/					
	——	/軟音/				/rʲ/					
側面音		/硬音/				/l/					
	——	/軟音/				/lʲ/					

二重子音 /çʲ/: [çʲ]

特徴子音 /ʲ/: 非口蓋音素（語頭で声門破裂音 [ʔ] または呼気の強め [ʰ] [自由変異]；
母音間で [ʲ]；子音の直後で軟口蓋半母音[uʲ]の出わたり音）

/j/: 口蓋音素 ([j])

【付録】現代ロシア語の子音束

1. 語頭子音束 (368 種)

見出し ¹ 子音束	正書法表示	音素表示	訳	
p	/p-/	парень	/párʲinʲ/	《若者》
	/ptʲ-/	птица	/ptʲíca/	《鳥》
	/ps-/	псарь	/psárʲ/	《犬好きな人》
	/psk-/	Псков	/pskóf/	《(地名)》
	/psʲ-/	псина	/psʲína/	《犬の肉・匂い》
	/pʃ-/	пшеница	/pʃínʲíca/	《小麦》
	/px-/	пхать	/pxátʲ/	《押す; 突く》
	/pxn-/	пхнуть	/pxnúʲtʲ/	《押す; 突く》
	/pxnʲ-/	пхнешь	/pxnʲóʃʲ/	《押す, 突く пхнуть (Pr. 2sg)》
	/pɕʲ-/	пчела	/pɕʲílá/	《ミツバチ》
	/pn-/	пнуть	/pnúʲtʲ/	《蹴る》
	/pnʲ-/	пня	/pnʲá/	《木の株 пень (Gsg)》
	/pl-/	пламя	/plámʲa/	《炎》
	/pʲ-/	плен	/pʲén/	《捕虜》
	/pr-/	праздник	/prázdnʲik/	《祝日》
	/prʒ-/	Пржевальский	/prʒiválʲskʲij/	《(人名)》
	/prʲ-/	прибор	/prʲibór/	《器具》
pʲ	/pʲ-/	первый	/pʲérvʲij/	《最初の》
	/pʲj-/	пью	/pʲjú/	《飲む пить (Pr. 1sg)》
b	/b-/	башня	/báʃnʲa/	《塔》
	/bdʲ-/	бдительный	/bdʲítʲilʲnʲij/	《用心深い》
	/bzʲ-/	бзик	/bzʲík/	《奇癖》
	/br-/	брат	/brát/	《兄弟》
	/brʲ-/	бритва	/brʲítva/	《剃刀》
	/bl-/	благо	/blága/	《福》
	/bʲ-/	блеск	/bʲésk/	《輝き》

¹ 「語頭子音束」「語末子音束」ともに見出しは 1) 閉鎖音, 2) 摩擦音, 3) 破擦音, 4) 鼻音, 5) 震え音, 6) 側面接近音, 7) 二重子音, 8) 特徴子音の順であり, それぞれの音類においては 1) 唇音, 2) 唇歯音, 3) 歯茎音, 4) 口蓋音, 5) 軟口蓋音の順, その下位音類の中では 1) 無声硬音, 2) 無声軟音, 3) 有声硬音, 4) 有声軟音の順で, 語頭子音束, 語末子音束ともに (逆引きではなく) 子音束の初頭からエントリーした。「正書法表示」のコラムに所与の子音束を含む語例を掲げ, その音素表記を添えた。「訳」においては所与の語の, 単数 (sg), 複数 (pl), 属格 (G), 与格 (D), 前置格 (L), 指小形 (Dim), 男性 (M), 女性 (F), 述語形容詞 (Pred), 現在 (Pr), 過去 (Pst), 命令法 (Imp) のみに関する文法形態の区別を特定しておく。

bʲ	/bʲ-/	белый	/bʲéɫɯ/	《白い》	
	/bʲj-/	бью	/bʲjú/	《打つ БИТЬ (Pr. 1sg)》	
t	/t-/	такой	/takóɯ/	《そのような》	
	/tk-/	ткань	/tkánʲ/	《織物》	
	/tkn-/	ткнуть	/tknúʲtʲ/	《押し込む》	
	/tknʲ-/	ткнешь	/tknʲóʃ/	《押し込む ТКНУТЬ (Pr. 2sg)》	
	/tkʲ-/	ткешь	/tkʲóʃ/	《織る ТКАТЬ (Pr. 2sg)》	
	/tv-/	твой	/tvóɯ/	《君の》	
	/tvʲ-/	твердый	/tvʲórdɯ/	《固い》	
	/tmʲ-/	тмин	/tmʲin/	《(植物) ヒメウイキョウ》	
	/tr-/	тройка	/tróɯka/	《トロイカ》	
	/trʲ-/	три	/trʲi/	《三》	
tʲ	/tʲj-/	тлеть	/tʲjétʲ/	《腐る》	
	/tʲɕʲ-/	тщательный	/tʲɕʲátʲiɫʲnɯ/	《入念な》	
	/tʲ-/	тетя	/tʲótʲa/	《おば》	
	/tʲf-/	тьфу	/tʲfú/	《(擬音語; 唾棄する音)》	
	/tʲm-/	тьма	/tʲmá/	《暗闇》	
	/tʲmʲ-/	тьме	/tʲmʲé/	《暗闇 ТЬМА (D)》	
	d	/d-/	дать	/dátʲ/	《与える》
		/dv-/	два	/dvá/	《二》
		/dvʲ-/	дверь	/dvʲérʲ/	《ドア》
		/dn-/	дно	/dnó/	《底》
/dnʲ-/		дневник	/dnʲivnʲik/	《日記》	
/dr-/		друг	/drúk/	《友達》	
/drʲ-/		древний	/drʲévnʲɯ/	《古代の》	
/dl-/		длань	/dlánʲ/	《手; 掌》	
/dlʲ-/		длинный	/dlʲinnɯ/	《長い》	
dʲ		/dʲ-/	деньги	/dʲénʲigʲi/	《お金》
	/dʲmʲ-/	Дмитрий	/dʲmʲitrʲɯ/ (<i>sic</i>)	《(人名)》	
	/dʲj-/	дьявол	/dʲjával/	《悪魔》	
k	/k-/	как	/kák/	《どのように》	
	/kt-/	кто	/któ/	《誰》	
	/kv-/	квас	/kvás/	《クワス》	
	/kvʲ-/	квитанция	/kvʲitáncija/	《領収書》	
	/kst-/	кстати	/kstátʲi/	《ところで》	
	/ksʲ-/	Ксения	/ksʲénʲija/	《(人名)》	
	/kx-/	кхе-кхе	/kxékxé/ (<i>sic</i>)	《(擬声語; 咳の音)》	
	/kn-/	кнул	/knút/	《鞭》	

	/kn ^j -/	книга	/kn ^j iga/	《本》
	/kr-/	красавица	/krasávn ^j ica/	《美人》
	/krz-/	Кржижановский	/krzizano ^j fsk ^j iu/	《(人名)》
	/kr ^j -/	крюк	/kr ^j úk/	《鉤》
	/kl-/	клоп	/klóp/	《南京虫》
	/k ^l -/	клен	/k ^l ón/	《楓》
k ^j	/k ^j -/	кедр	/k ^j édr/	《杉》
g	/g-/	гадкий	/gátk ^j iu/	《忌わしい》
	/gd ^j -/	где	/gd ^j é/	《どこ》
	/gv-/	гвоздь	/gvóst ^j /	《釘》
	/gz-/	Гжель	/gzé ^j /	《(Москва 郊外の地名)》
	/gm-/	гмыкать	/gmíkat ^j /	《フンという》
	/gn-/	гнуть	/gnút ^j /	《曲げる》
	/gn ^j -/	гниль	/gn ^j íl ^j /	《腐ったもの》
	/gr-/	гром	/gróm/	《雷》
	/gr ^j -/	грива	/gr ^j iva/	《たてがみ》
	/gl-/	глава	/glavá/	《章》
	/g ^l -/	глина	/g ^l ina/	《粘土》
g ^j	/g ^j -/	гибкий	/g ^j ipk ^j iu/	《しなやかな》
f	/f-/	фамилия	/fam ^j í ^j ija/	《姓》
	/fp-/	впадина	/fpád ^j ina/	《くぼみ》
	/fpr-/	вправить	/fpráv ^j it ^j /	《元の位置に収める》
	/fpr ^j -/	впрячь	/fpr ^j ác ^j /	《馬を車につなぐ》
	/fpl-/	вплавить	/fpláv ^j it ^j /	《溶接する》
	/fpl ^j -/	вплести	/fpl ^j ist ^j i/	《編み込む》
	/fp ^j -/	впервые	/fp ^j irvíje/	《はじめて》
	/ft-/	вторник	/ftóm ^j ik/	《火曜日》
	/ftr-/	втроем	/ftrajóm/	《三人で》
	/ftr ^j -/	втридорога	/ftr ^j idaraga/	《三倍の値段で》
	/ft ^j -/	втереть	/ft ^j ir ^j ét ^j /	《塗り込む》
	/fk-/	вкатать	/fkatát ^j /	《ころがしこむ》
	/fkr-/	вкрутить	/fkrut ^j it ^j /	《捻じ入れる》
	/fkr ^j -/	вкрепить	/fkr ^j ip ^j it ^j /	《(嵌め込んで) 固定する》
	/fkl-/	вклад	/fklát/	《預金》
	/fkl ^j -/	включать	/fkl ^j uc ^j át ^j /	《スイッチを入れる》
	/fk ^j -/	вкинуть	/fk ^j inut ^j /	《投げ込む》
	/fs-/	всадник	/fsádn ^j ik/	《騎手》
	/fsp-/	вспомнить	/fspóm ^j it ^j /	《思い出す》

	/fspr-/	вспрыгнуть	/fsprígnutʲ/	《飛び上がる》
	/fsprʲ-/	вспрянуть	/fsprʲánutʲ/	《急に立ち上がる》
	/fspl-/	всплыть	/fsplítʲ/	《浮上する》
	/fspʲ-/	всплеск	/fspʲésk/	《水しぶき》
	/fspʲ-/	вспенить	/fspʲénʲitʲ/	《泡立たせる》
	/fst-/	встать	/fstátʲ/	《起きる》
	/fstr-/	встроить	/fstrójtʲ/	《組み込む》
	/fstrʲ-/	встреча	/fstrʲécʲa/	《出会い》
	/fsk-/	вскопать	/fskapátʲ/	《掘り起こす》
	/fskr-/	вскрыть	/fskrítʲ/	《開ける》
	/fskrʲ-/	вскрик	/fskrʲík/	《叫び声》
	/fskl-/	всклокочить	/fsklakócʲitʲ/	《(毛を) かき乱す》
	/fskʲ-/	вскипеть	/fskʲípʲétʲ/	《沸騰する》
	/fsx-/	всходы	/fsxódi/	《穀物の芽生え (Npl)》
	/fsxr-/	всхрап	/fsxráp/	《鼾》
	/fsxlʲ-/	всхлип	/fsxlʲíp/	《啜り泣き》
	/fsm-/	всмотреться	/fsmatrʲétʲsʲa/	《見つめる》
	/fsmʲ-/	вмятку	/fsmʲátku/	《半熟に (ゆでる)》
	/fsl-/	вслушаться	/fslúfatʲsʲa/	《聞き入る》
	/fsʲ-/	все	/fsʲé/	《すべて》
	/fʃ-/	вши	/fʃi/	《シラミ вошь (pl)》
	/fx-/	вход	/fxót/	《入り口》
	/fc-/	вцепить	/fcípʲitʲ/	《鉤で引っかける》
	/fcʲ-/	вчера	/fcʲírá/	《きのう》
	/fr-/	фрукты	/frúkti/	《果物》
	/frʲ-/	фрегат	/frʲígát/	《フリゲート艦》
	/fl-/	флаг	/flák/	《旗》
	/flʲ-/	флейта	/flʲéita/	《フルート》
ř	/ř-/	фирма	/řírma/	《会社》
v	/v-/	ваш	/váf/	《あなたの》
	/vb-/	вбухать	/vbúxatʲ/	《大量につぎ込む》
	/vbr-/	вбросить	/vbrósʲitʲ/	《投げ込む》
	/vbʲ-/	вбить	/vbʲítʲ/	《打ち込む》
	/vd-/	вдова	/vdavá/	《寡婦》
	/vdr-/	вдруг	/vdrúk/	《突然》
	/vdv-/	вдвоем	/vdvajóm/	《二人で》
	/vdvʲ-/	вдвинуться	/vdvʲínutʲsʲa/	《入る》
	/vdʲ-/	вдеть	/vdʲétʲ/	《(狭い穴の間に) 通す》》

/vg-/	ВГОНЯТЬ	/vgan ¹ át ¹ /	《追い入れる》
/vgr-/	ВГРЫЗТЬСЯ	/vgríst ¹ s ¹ a/	《咬みつく》
/vgl-/	ВГЛУХУЮ	/vgluxúju/	《一面に》
/vg ¹ -/	ВГЛЯДЕТЬСЯ	/vg ¹ í ¹ d ¹ ét ¹ s ¹ a/	《見入る》
/vg ¹ -/	ВГИБ	/vg ¹ íp/	《窪み》
/vv-/	ВВОЗ	/vvós/	《搬入；輸入》
/vv ¹ -/	ВВЕДЕНИЕ	/vv ¹ í ¹ d ¹ én ¹ ije/	《導入》
/vz-/	ВЗОР	/vzór/	《まなざし》
/vzb-/	ВЗБАЛМОШНЫЙ	/vzbálma ¹ fnu/	《気違いじみた；気紛れな》
/vzb ¹ -/	ВЗБЛЕСНУТЬ	/vzb ¹ í ¹ snút ¹ /	《閃めく》
/vzb ¹ -/	ВЗБИТЬ	/vzb ¹ ít ¹ /	《たたいてふわふわにする》
/vzd-/	ВЗДОР	/vzdór/	《ぼかげたこと》
/vzdr-/	ВЗДРОГНУТЬ	/vzdróg ¹ nut ¹ /	《びくっとする》
/vzdr ¹ -/	ВЗДРЕМНУТЬ	/vzdr ¹ ím ¹ nút ¹ /	《まどろむ》
/vzd ¹ -/	ВЗДЕРНУТЬ	/vzd ¹ ór ¹ nut ¹ /	《持ち上げる》
/vzg-/	ВЗГОРЬЕ	/vzgór ¹ je/	《小山；丘》
/vzgr-/	ВЗГРУСТНУТЬСЯ	/vzgrusnút ¹ s ¹ a/	《急に寂しくなる》
/vzgr ¹ -/	ВЗГРЕВАТЬ	/vzgr ¹ ívát ¹ /	《ぶん殴る》
/vzg ¹ -/	ВЗГЛЯД	/vzg ¹ íát/	《視線》
/vzv-/	ВЗВОЛНОВАТЬ	/vzvalnavát ¹ /	《興奮させる》
/vzv ¹ -/	ВЗВЕСИТЬ	/vzv ¹ és ¹ ít ¹ /	《重さを量る》
/vzm-/	ВЗМОРЬЕ	/vzmór ¹ je/	《渚》
/vzm ¹ -/	ВЗМЕТАТЬ	/vzm ¹ ítát ¹ /	《投げ上げる》
/vzn-/	ВЗНОС	/vznós/	《納入》
/vzr-/	ВЗРОСЛЫЙ	/vzróslu/	《大人の》
/vzr ¹ -/	ВЗРЕЗАТЬ	/vzrézat ¹ /	《切り裂く》
/vzl-/	ВЗЛОМАТЬ	/vzlamát ¹ /	《こじ開ける》
/vz ¹ -/	ВЗЛЕТЕТЬ	/vz ¹ ít ¹ ét ¹ /	《飛び立つ》
/vzj-/	ВЗЪЕРОШЕННЫЙ	/vzjeró ¹ snnu/	《もじゃもじゃの髪の毛》
/vz ¹ -/	ВЗЯТКА	/vz ¹ átka/	《賄賂》
/vz-/	ВЖАТЬ	/vzát ¹ /	《押し込む》
/vm-/	ВМАЗАТЬ	/vmázat ¹ /	《塗り込む》
/vm ¹ -/	ВМЕШАТЬСЯ	/vm ¹ í ¹ fat ¹ s ¹ a/	《介入する》
/vn-/	ВНУК	/vnúk/	《孫》
/vn ¹ -/	ВНИМАНИЕ	/vn ¹ ímán ¹ ije/	《注意》
/vr-/	ВРАТЬ	/vrát ¹ /	《嘘をつく》
/vr ¹ -/	ВРЕМЯ	/vr ¹ ém ¹ a/	《時間》
/vl-/	ВЛАСТЬ	/vlást ¹ /	《権力》

	/vʲ-/	влиять	/vʲijátʲ/	《影響する》
	/vj-/	въезд	/vjést/	《乗り入れ》
vʲ	/vʲ-/	вина	/vʲiná/	《罪》
	/vʲj-/	вьюга	/vʲjúga/	《吹雪》
s	/s-/	сад	/sát/	《庭園》
	/sp-/	способ	/spósap/	《手段》
	/spr-/	спрос	/sprós/	《需要》
	/sprʲ-/	спрятать	/sprʲátatʲ/	《飛び降りる》
	/spl-/	сплав	/spláf/	《合金》
	/splʲ-/	сплетня	/splʲétnʲa/	《噂》
	/spʲ-/	спелый	/spʲéli/	《熟した》
	/st-/	сто	/stó/	《百》
	/stv-/	ствол	/stvól/	《幹》
	/str-/	страх	/stráx/	《恐怖》
	/strʲ-/	стрижка	/strʲíjka/	《刈り取り》
	/stl-/	стлать	/stlátʲ/	《敷く》
	/stʲ-/	стена	/stʲiná/	《壁》
	/sk-/	сказка	/skáska/	《昔話》
	/skv-/	скважина	/skvážina/	《隙間；割れ目》
	/skvʲ-/	скверный	/skvʲérnʲi/	《忌わしい》
	/skr-/	скрыть	/skrítʲ/	《隠す》
	/skrʲ-/	скрипка	/skrʲípka/	《バイオリン》
	/skl-/	склон	/sklón/	《斜面》
	/sklʲ-/	склянка	/sklʲánka/	《小さなガラス瓶》
	/skʲ-/	скидка	/skʲítka/	《値引き》
	/sf-/	сфабриковать	/sfabrʲikavátʲ/	《捏造する》
	/sfʲ-/	сфера	/sfʲéra/	《圏域》
	/sv-/	свободный	/svabódnʲi/	《自由な》
	/svʲ-/	связь	/svʲásʲ/	《結びつき》
	/ss-/	ссора	/ssóra/	《口論》
	/ssʲ-/	ссесться	/ssʲéstʲsʲa/	《縮む》
	/sfʲ-/	сшить	/sfʲítʲ/	《縫う》
	/sx-/	сходный	/sxódnʲi/	《同様の》
	/sxv-/	схватить	/sxvatʲítʲ/	《つかまえる》
	/sxl-/	схлынуть	/sxlínutʲ/	《さっと水がひく》
	/sxʲ-/	схема	/sxʲéma/	《図式》
	/sc-/	сцена	/scéna/	《舞台》
	/sm-/	смысл	/smísl/	《意味》

	/smr-/	смрад	/smrát/	《悪臭》
	/smʲ-/	смех	/smʲéx/	《笑い》
	/sn-/	сносный	/snósni/	《まあまあの ; かなりの》
	/snʲ-/	снег	/snʲék/	《雪》
	/sr-/	срок	/srók/	《期間》
	/srʲ-/	среда	/srʲídá/	《水曜日》
	/sl-/	слово	/slóva/	《言葉》
	/slʲ-/	слюна	/slʲuná/	《よだれ》
	/sj-/	съемка	/sjómka/	《撮影》
sʲ	/sʲ-/	синий	/sʲinʲi/	《青い》
z	/z-/	зуб	/zúp/	《歯》
	/zb-/	сбор	/zbór/	《採集》
	/zbr-/	сбросить	/zbrósʲitʲ/	《投げ下ろす》
	/zbrʲ-/	сбрить	/zbrʲitʲ/	《剃り落とす》
	/zblʲ-/	сблизить	/zblʲízʲitʲ/	《近づける》
	/zbʲ-/	сбить	/zbʲitʲ/	《はたき落とす》
	/zd-/	сдача	/zdácʲa/	《おつり》
	/zdv-/	сдвоить	/zdvajítʲ/	《二重にする》
	/zdvʲ-/	сдвинуть	/zdvʲinutʲ/	《脇へ動かす》
	/zdr-/	здравый	/zdrávʲi/	《健全な》
	/zdʲ-/	здесь	/zdʲésʲ/	《ここ》
	/zg-/	сгусток	/zgústak/	《かたまり》
	/zgn-/	сгноить	/zgnajítʲ/	《腐らせる》
	/zgnʲ-/	сгнить	/zgnʲitʲ/	《腐る》
	/zgr-/	сгружать	/zgruzátʲ/	《荷降しする》
	/zgl-/	сгладить	/zgládʲitʲ/	《均す》
	/zgʲ-/	сгинуть	/zgʲinutʲ/	《消える》
	/zv-/	звук	/zvúk/	《音》
	/zvʲ-/	зверь	/zvʲérʲ/	《けもの》
	/zz-/	сзывать	/zzivátʲ/	《呼び集める》
	/z3-/	сжать	/z3átʲ/	《圧縮する》
	/zmʲ-/	змея	/zmʲijá/	《蛇》
	/zn-/	знак	/znák/	《記号 ; 印》
	/zr-/	зрачок	/zracʲók/	《瞳》
	/zrʲ-/	зритель	/zrʲítʲi/	《観客》
	/zl-/	злой	/zló/	《邪悪な》
	/zlʲ-/	злить	/zlʲitʲ/	《怒らせる》
zʲ	/zʲ-/	земля	/zʲimlʲjá/	《地》

ʃ	/ʃ-/	шахматы	/ʃáxmatɪ/	《チェス》
	/ʃp-/	шпора	/ʃpóra/	《拍車》
	/ʃpr-/	шпроты	/ʃpróti/	《鱒》
	/ʃpr ⁱ -/	шприц	/ʃpr ⁱ ɪc/	《注射器》
	/ʃp ⁱ -/	шпилька	/ʃp ⁱ ɪl ^{ka} /	《ヘアピン》
	/ʃt-/	штаны	/ʃtaní/	《ズボン》
	/ʃtr-/	штраф	/ʃtráf/	《罰金》
	/ʃtr ⁱ -/	штрих	/ʃtr ⁱ ɪx/	《線；特徴》
	/ʃt ⁱ -/	стиль	/ʃt ⁱ ɪl ⁱ /	《スタイル》
	/ʃk-/	школа	/ʃkóla/	《学校》
	/ʃkv-/	шквал	/ʃkvál/	《突風；旋風》
	/ʃkl-/	Шкловский	/ʃklófsk ⁱ ɪ/	《(人名)》
	/ʃk ⁱ -/	шкет	/ʃk ⁱ ét/	《青二才》
	/ʃv-/	шва	/ʃvá/	《縫い目 (Gsg)》
	/ʃm-/	шмыгать	/ʃmígat ⁱ /	《すり足で歩く》
	/ʃm ⁱ -/	שמель	/ʃm ⁱ él ⁱ /	《マルハナバチ》
	/ʃn-/	шнур	/ʃnúr/	《紐；コード》
	/ʃn ⁱ -/	шницель	/ʃn ⁱ ɪcɪl ⁱ /	《たたき肉》
	/ʃr-/	шрам	/ʃrám/	《傷跡》
	/ʃr ⁱ -/	шриффт	/ʃr ⁱ ɪft/	《活字》
	/ʃl-/	шланг	/ʃláng/	《ホース；蛇管》
	/ʃl ⁱ -/	шляпа	/ʃl ⁱ ápa/	《帽子》
	/ʃj-/	шью	/ʃjú/	《縫う шить (Pr. 1sg)》
3	/ʒ-/	жарко	/ʒárka/	《暑い》
	/ʒb-/	жбан	/ʒbán/	《水差し》
	/ʒd-/	ждать	/ʒdát ⁱ /	《待つ》
	/ʒd ⁱ -/	жди	/ʒd ⁱ ɪ/	《待つ ждать (Imp)》
	/ʒg-/	жгучий	/ʒgúč ⁱ ɪ/	《熱い》
	/ʒgl-/	жглась	/ʒglás ⁱ /	《火傷する жечься (Pst. F)》
	/ʒgl ⁱ -/	жглись	/ʒgl ⁱ ɪs ⁱ /	《火傷する жечься (Pst. pl)》
	/ʒg ⁱ -/	жги	/ʒg ⁱ ɪ/	《焼く жечь (Imp)》
	/ʒv-/	жвачка	/ʒváč ^{ka} /	《噛みタバコ；ガム》
	/ʒʒ-/	жженный	/ʒʒónɪ/	《焼かれた》
	/ʒm-/	жмурки	/ʒmúr ^k ɪ/	《目隠し鬼ごっこ》
	/ʒm ⁱ -/	жмешь	/ʒm ⁱ óʃ/	《圧す жать (Pr. 2sg)》
	/ʒn-/	жну	/ʒnú/	《刈り取る жать (Pr. 1sg)》
	/ʒn ⁱ -/	жнец	/ʒn ⁱ éc/	《穀物を刈り取る人》
	/ʒr-/	жрать	/ʒrát ⁱ /	《喰らう》

	/ʒrʲ-/	жрешь	/ʒrʲóʃ/	《喰らう жрать (Pr. 2sg)》
	/ʒl-/	жлоб	/ʒlóp/	《けち》
x	/x-/	худой	/xudóy/	《瘦せた》
	/xv-/	хвост	/xvóst/	《尾》
	/xm-/	хмурый	/xmúry/	《陰気な》
	/xmʲ-/	хмель	/xmʲéʃ/	《ホップ》
	/xn-/	хныкать	/xníkatʲ/	《啜り泣く》
	/xr-/	храп	/xráp/	《鼾》
	/xrʲ/	хребет	/xrʲibʲét/	《背骨》
	/xl-/	хлопок	/xlópak/	《綿》
	/xlʲ-/	хлипкий	/xlʲípkʲy/	《脆い》
xʲ	/xʲ-/	хищный	/xʲíʃny/	《獰猛な》
c	/c-/	царь	/cárʲ/	《皇帝》
	/cvʲ-/	цвет	/cvʲét/	《色》
č	/č-/	часто	/částa/	《しばしば》
	/čt-/	что	/čtú/	《敬う ЧТИТЬ (Pr. 1sg)》
	/čtʲ-/	чтение	/čtʲénʲije/	《読書》
	/čk-/	Чкалов	/čkálaf/	《(人名)》
	/čv-/	чванный	/čvánný/	《高慢な》
	/čm-/	чмокать	/čmókati/	《(唇で) ぴちゃぴちゃ音をたてる》
	/črʲ-/	чрево	/črʲéva/	《腹》
	/čʲ-/	член	/čʲén/	《成員》
	/čj-/	чья	/čjá/	《誰の чей (F)》
m	/m-/	мать	/mátʲ/	《母》
	/md-/	Мда	/mdá/	《(Новгород 州の河川名)》
	/mdʲ-/	Мде	/mdʲé/	《(Новгород 州の河川名) (D)》
	/mgn-/	мгновение	/mgnavʲénʲije/	《瞬間》
	/mgl-/	мгла	/mglá/	《霧 (もや)》
	/mgʲʲ-/	мглистый	/mgʲʲísty/	《霧のかかった》
	/mstʲ-/	мстить	/mstʲítʲ/	《復讐する》
	/mzd-/	мзда	/mzdá/	《賄賂》
	/mzdʲ-/	мзде	/mzdʲé/	《賄賂 мзда (Lsg)》
	/mf-/	мшистый	/mfísty/	《苔の》
	/mx-/	мха	/mxá/	《苔 мох (Gsg)》
	/mxʲ-/	мхи	/mxʲí/	《苔 мох (Npl)》
	/mcʲ-/	мчатся	/mcʲátʲsʲa/	《疾走する》
	/mn-/	много	/mnóga/	《たくさんの》
	/mnʲ-/	мнение	/mnʲénʲije/	《意見》

	/mr-/	мрак	/mrák/	《闇》
	/mr ^j -/	мрет	/mr ^j ót/	《死ぬ мереть (Pr. 3sg)》
	/ml-/	младший	/mlátʃu/	《年下の》
	/ml ^j -/	млеть	/ml ^j étʃ/	《感動する》
	/mç ^j -/	мщу	/mç ^j ú/	《復讐する мстить (Pr. 1sg)》
m ^j	/m ^j -/	мягкий	/m ^j áxk ^j u/	《やわらかい》
n	/n-/	наш	/náf/	《私たちの》
	/nr-/	нрав	/nráf/	《気質》
n ^j	/n ^j -/	низкий	/n ^j ísk ^j u/	《低い》
r	/r-/	рука	/ruká/	《手；腕》
	/rt-/	рта	/rtá/	《口 pot (Gsg)》
	/rt ^j -/	ртишко	/rt ^j ʃka/	《口 pot (Dim)》
	/rd ^j -/	рдение	/rd ^j én ^j ije/	《赤らむこと》
	/rv-/	рваный	/rvánu/	《破れた》
	/rv ^j -/	рвение	/rv ^j én ^j ije/	《熱意》
	/rʒ-/	ржавчина	/rʒáfç ^j ina/	《錆び》
r ^j	/r ^j -/	ряд	/r ^j át/	《列》
	/r ^j ʒ-/	рьяный	/r ^j ján ^j u/	《熱心な》
l	/l-/	лак	/lák/	《漆》
	/lb-/	лба	/lbá/	《額 лоб (Gsg)》
	/lb ^j -/	лбишко	/lb ^j ʃka/	《額 лоб (Dim)》
	/lg-/	лгать	/lgátʃ/	《嘘をつく》
	/lg ^j -/	лги	/lg ^j ʃ/	《嘘をつく лгать (Imp)》
	/lʒ-/	лживый	/lʒív ^j u/	《偽りの》
l ^j	/l ^j -/	лицо	/l ^j ícó/	《顔》
	/l ^j d-/	льда	/l ^j dá/	《氷 лед (Gsg)》
	/l ^j d ^j -/	льдина	/l ^j d ^j ina/	《氷塊》
	/l ^j g-/	льгота	/l ^j góta/	《特典》
	/l ^j v-/	льва	/l ^j vá/	《ライオン лев (Gsg)》
	/l ^j v ^j -/	львенок	/l ^j v ^j ónak/	《ライオンの子》
	/l ^j st ^j -/	льстец	/l ^j st ^j éc/	《へつらう人》
	/l ^j n-/	льна	/l ^j ná/	《亜麻 лен (Gsg)》
	/l ^j n ^j -/	льняной	/l ^j n ^j inóu/	《亜麻の》
	/l ^j ʒ-/	льет	/l ^j ʒót/	《漏れる лить (Pr. 3sg)》
	/l ^j ç ^j -/	льщу	/l ^j ç ^j ú/	《おもねる льстеть (Pr. 1sg)》
ç ^j	/ç ^j -/	щель	/ç ^j élʃ/	《割れ目》
ʒ	/ʒ-/	азбука	/ʒábuka/	《イロハ》
j	/j-/	яма	/jáma/	《穴》

2. 語末子音束 (171 種)

見出し	子音束	正書法表示	音素表示	訳
p	/-p/	лоб	/lóp/	《額》
	/-ps/	гипс	/g'íps/	《ギブス; 石膏》
	/-pstf/	удобств	/údópstf/	《設備 удобство (Gp1)》
	/-pr/	Днепр	/dn'épr/	《(河名)》
	/-pr ^j /	вепрь	/v'épr ^j /	《猪》
	/-p ^l /	хрипл	/xr'ípl/	《しわがれた хриплый (PredM)》
	/-p ^l ^j /	воплъ	/vóp ^l ^j /	《号泣》
	/-pɕ ^j /	общ	/ópɕ ^j /	《共通の общий (PredM)》
p ^j	/-p ^j /	цепь	/č'ép ^j /	《鎖》
b	/-br/	добр	/dóbr/	《よい добрый (PredM)》
	/-br ^j /	октябрь	/ákt'ábri ^j /	《十月》
	/-bl/	дрябл	/dr'ábl/	《しなびた дряблый (PredM)》
	/-b ^l ^j /	корабль	/karábl ^j /	《船》
t	/-t/	год	/gót/	《年》
	/-tf/	битв	/b'ítf/	《戦い битва (Gp1)》
	/-tf ^j /	ветвь	/v'étf ^j /	《枝》
	/-tsk/	Охотск	/áxótsk/	《(地名)》
	/-tstf/	средств	/sr'éstf/	《手段; 資金 средство (Gp1)》
	/-tx/	ветх	/v'étx/	《おいぼれた ветхий (PredM)》
	/-txl/	затхл	/zátxl/	《湿気た затхлый (PredM)》
	/-tm/	ритм	/r'ítm/	《リズム》
	/-tr/	осетр	/as'ótr/	《チョウゼメ》
	/-tr ^j /	внутри	/vnútr ^j /	《中へ》
	/-tl/	утл	/útl/	《脆弱な утлый (PredM)》
	t ^j	/-t ^j /	писать	/p'ísát ^j /
/-t ^j p/		женитьб	/žin'ít ^j p/	《結婚; 嫁取り женитьба (Gp1)》
d	/-dr/	кедр	/k'édr/	《杉》
	/-dl/	подл	/pódl/	《俗悪な подлый (PredM)》
d ^j	/-d ^j m/	ведьм	/v'éd ^j m/	《魔女 ведьма (Gp1)》
k	/-k/	миг	/m'ík/	《瞬間》
	/-kt/	проект	/pra'ékt/ (sic)	《計画》
	/-kf/	букв	/búkf/	《文字 буква (Gp1)》
	/-ks/	клякс	/kl'áks/	《(インク等の) 沁み клякса (Gp1)》
	/-kst/	текст	/t'ékst/	《テキスト》
	/-kstf/	бегств	/b'ékstf/	《逃走 бегство (Gp1)》
	/-kf/	квакш	/kvákš/	《雨蛙 квакша (Gp1)》

	/-kr/	мокр	/mókr/	《濡れた мокрый (PredM)》
	/-kl/	свекл	/sv'ókkl/	《カブ свекла (Gp1)》
	/-klʲ/	спектакль	/sp'iktákʲ/	《芝居》
g	/-gvʲ/	хоругвь	/xarúgvʲ/ (sic)	《教会旗》
	/-gm/	догм	/dógm/	《根本命題 догма (Gp1)》
	/-gr/	игр	/jigr/	《遊び игра (Gp1)》
	/-gl/	игл	/jigl/	《針 игла (Gp1)》
	/-glʲ/	уголь	/úglʲ/	《炭》
f	/-f/	лев	/l'éf/	《獅子》
	/-ft/	кофт	/kóft/	《(女性の)ジャケット кофта(Gp1)》
	/-ftʲ/	нефть	/n'éftʲ/	《石油》
	/-fstf/	лукавств	/lukáfstf/	《狡猾な行い лукавство (Gp1)》
	/-fʃ/	ковш	/kófʃ/	《柄杓》
	/-fm/	рифм	/r'ífm/	《押韻 рифма (Gp1)》
	/-fr/	цифр	/cífr/	《数字 цифра (Gp1)》
ǰ	/-ǰ/	бровь	/bróǰ/	《眉》
v	/-vm/	травм	/trávm/	《外傷 травма (Gp1)》
	/-vr/	лавр	/lávvr/	《(植) 月桂樹》
	/-vʲ/	журавль	/zurávʲ/	《鶴》
s	/-s/	нос	/nós/	《鼻》
	/-sp/	изб	/jisp/	《小屋 изба (Gp1)》
	/-st/	хвост	/xvóst/	《尾》
	/-stf/	знакомств	/znakómstf/	《知己 знакомство (Gp1)》
	/-str/	остр	/óstr/	《鋭い острый (PredM)》
	/-stʲ/	кость	/kóstʲ/	《骨》
	/-sk/	блеск	/bl'ésk/	《きらめき》
	/-skr/	искр	/jiskr/	《火花 искра (Gp1)》
	/-skl/	тускл	/túskl/	《くすんだ тусклый (PredM)》
	/-snʲ/	песнь	/p'ésnʲ/	《歌》
	/-sl/	смысл	/smísl/	《意味》
	/-slʲ/	мысль	/míslʲ/	《思想》
sʲ	/-sʲ/	связь	/sv'ásʲ/	《つながり》
	/-sʲp/	просьб	/prósʲp/	《頼み просьба (Gp1)》
z	/-zv/	язв	/jávvr/ (sic)	《潰瘍 язва (Gp1)》
	/-zm/	марксизм	/marks'ízm/	《マルクス主義》
	/-zn/	соблазн	/sablázn/	《誘惑》
	/-znʲ/	жизнь	/jízʲnʲ/	《命》
	/-zl/	жезл	/jézvl/	《笏杖》

ʃ	/-f/	муж	/múʃ/	《夫》
	/-ʃp/	служб	/slúʃp/	《勤め служба (Gp1)》
	/-ʃt/	чужд	/čúʃt/	《他の ちуждый (PredM)》
	/-ʃtʲ/	дождь	/dóʃtʲ/	《雨》
	/-ʃf/	подошв	/padóʃf/	《靴裏 подошва (Gp1)》
	/-ʃc/	мышц	/míʃc/	《筋肉 мышца (Gp1)》
	/-ʃl/	пошл	/póʃl/	《俗悪な пошлый (PredM)》
ʒ	/-ʒm/	пижм	/pʲíʒm/	《ヨモギギク пижма (Gp1)》
x	/-x/	воздух	/vózdux/	《空気》
	/-xt/	шахт	/ʃáxt/	《鉾山 шахта (Gp1)》
	/-xm/	хохм	/xóxm/	《駄洒落 хохма (Gp1)》
	/-xrʲ/	вихрь	/vʲíxrʲ/	《疾風》
	/-xl/	рыхл	/ríxl/	《脆い рыхлый (PredM)》
с	/-c/	палец	/pálʲic/	《指》
čʲ	/-čʲ/	дочь	/dóčʲ/	《娘》
	/-čʲt/	почт	/póčʲt/	《郵便局 почта (Gp1)》
	/-čʲf/	почв	/póčʲf/	《土壤 почва (Gp1)》
m	/-m/	дом	/dóm/	《家》
	/-mp/	ламп	/lámp/	《ランプ лампа (Gp1)》
	/-mbr/	тембр	/témbr/ (sic)	《音色》
	/-mbʲ/	ансамбль	/ʼansámblʲ/	《アンサンブル》
	/-mt/	почтамт	/pacʲtám/	《郵便本局》
	/-mf/	триумф	/trʲiʼúm/	《勝利》
	/-ms/	грымз	/gríms/	《口うるさい爺 грымза (Gp1)》
	/-mstf/	ведомств	/vʲédamstf/	《所轄官庁 ведомство (Gp1)》
	/-msk/	Омск	/ʼómsk/	《(地名)》
	/-mm/	сонм	/sómm/ (sic)	《大群 ; 多数》
	/-mn/	гимн	/gʲímn/	《国歌》
	/-mr/	мымр	/mímr/	《無口で陰気な人 мымра (Gp1)》
	/-mlʲ/	кремль	/krʲémʲ/	《城壁》
	/-mʲ/	семь	/sʲémʲ/	《七》
n	/-n/	он	/ʼón/	《彼》
	/-nt/	зонт	/zónt/	《傘》
	/-ntstf/	агентств	/ʼagʲéntstf/	《代理店 агентство (Gp1)》
	/-ntr/	центр	/cént/	《中心 ; 都心》
	/-ndr/	Александр	/ʼalʲíksandr/	《(人名)》
	/-nk/	лозунг	/lózunk/	《スローガン》
	/-nkt/	пункт	/púnkt/	《地点》

	/-ns/	шанс	/ʃáns/	《チャンス》
	/-nstf/	гражданств	/grazdánstf/	《市民権 公民権 (Gp1)》
	/-nstr/	монстр	/mónstr/	《怪物》
	/-nsk/	Канск	/kánsk/	《(地名)》
	/-nf/	почтальонш	/paç'talj'ónʃ/	《女性郵便配達 郵便物 (Gp1)》
	/-nc/	принц	/pr'inc/	《王子》
	/-ncʲ/	ленч	/l'encʲ/	《ランチ》
	/-nr/	жанр	/zánr/	《ジャンル》
nʲ	/-nʲ/	лень	/l'énʲ/	《怠惰》
r	/-r/	мир	/m'ír/	《世界》
	/-rp/	серп	/s'érp/	《鎌》
	/-rt/	черт	/c'órt/	《悪魔》
	/-rtf/	мертв	/m'órtf/	《死んだ 死んだ (PredM)》
	/-rtʲ/	смерть	/sm'értʲ/	《死》
	/-rk/	восторг	/vastórk/	《歓喜》
	/-rf/	нерв	/n'érf/	《神経》
	/-rʲ/	червь	/c'érfʲ/	《蛆》
	/-rs/	каверз	/káv'irs/	《悪巧み 悪巧み (Gp1)》
	/-rstf/	царств	/cárstf/	《帝国 帝国 (Gp1)》
	/-rstʲ/	шерсть	/ʃérsʲ/	《羊毛》
	/-rsk/	Красноярск	/krasnajársk/	《(地名)》
	/-rsʲ/	ферзь	/f'érsʲ/	《(チェスの) クイーン》
	/-rʃ/	ерш	/j'óʃ/	《アセリナ (魚)》
	/-rx/	верх	/v'érx/	《上に》
	/-rc/	герц	/g'érc/	《ヘルツ》
	/-rcʲ/	харч	/xárcʲ/	《食べ物》
	/-rm/	корм	/kórm/	《餌; 飼料》
	/-rn/	дерн	/d'órn/	《芝》
	/-rnʲ/	чернь	/c'érnʲ/	《黒金》
	/-rl/	жерл	/z'érl/	《銃口 銃口 (Gp1)》
	/-rcʲ/	борщ	/b'órcʲ/	《ボルシチ》
rʲ	/-rʲ/	дверь	/dv'érfʲ/	《ドア》
	/-rʲpʲ/	скорбь	/sk'órʲpʲ/ (sic)	《悲しみ》
	/-rʲmʲ/	Пермь	/p'érfʲmʲ/ (sic)	《(地名)》
l	/-l/	пол	/pól/	《床》
	/-lp/	столб	/stólp/	《柱》
	/-lt/	желт	/z'ólt/	《黄色い 黄色い (PredM)》
	/-ltʲ/	прожелть	/pr'óziltʲ/	《黄ばみ》

	/-lk/	волк	/vólk/	《狼》
	/-lʃ/	молвь	/mólʃ/	《話し声》
	/-ls/	полз	/póls/	《這っていく ползти (PstM)》
	/-lst/	толст	/tólst/	《太った толстый (PredM)》
	/-lxf/	волхв	/vólxf/	《ヴォルフフ (伝承の妖術師の名)》
	/-lcʲ/	желчь	/zélcʲ/	《胆汁》
	/-lm/	холм	/xólm/	《丘》
	/-lmsk/	Холмск	/xólmsk/	《(地名)》
	/-ln/	волн	/vóln/	《波 волна (Gp1)》
iʲ	/-lʲ/	соль	/sólʲ/	《塩》
	/-lʲp/	стрельб	/strʲélʲp/	《射撃 стрельба (Gp1)》
	/-lʲt/	культ	/kúlʲt/	《崇拜》
	/-lʲtʲ/	сельдь	/sʲélʲtʲ/	《ニシン》
	/-lʲf/	Рудольф	/rudólʲf/	《(人名)》
	/-lʲs/	рельс	/rʲélʲs/	《レール》
	/-lʲstf/	издательств	/jɪzdátʲɪʲstf/	《出版社 издательство (Gp1)》
	/-lʲsʲ/	вскользь	/fskólʲsʲ/	《さっと ; 軽く》
	/-lʲʃ/	фальшь	/fálʲʃ/	《虚偽》
	/-lʲc/	зельц	/zʲélʲc/	《(ソーセージの種類)》
	/-lʲm/	шелъм	/ʃélʲm/	《山師 шельма (Gp1)》
ɕʲ	/-ɕʲ/	вещь	/vʲéɕʲ/	《物》

参考文献

- Дмитренко, Светлана Н. (1985). *Фонемы русского языка: Их сочетаемость и функциональная нагрузка*. Москва: Наука.
- Зализняк, Андрей А. (1977). *Грамматический словарь русского языка: Словоизменение*. Москва: Русский язык.
- Кога, Ёсиаки (2001). 'Современный русский вокализм: Структурная интерпретация [i] и [i]ʲ'. *スラヴ文化研究 [Slavic Culture Studies]*: 東京外国語大学 [TUFS]. 1: 105-18.
- Кога, Ёсиаки (2002). 'К морфонемике русских предлогов к, с и в' *Филологические записки. Вестник литературоведения и языкознания*. Воронеж: Воронежский Государственный Университет, Вып. 18: 167-72.
- Топоров, Владимир Н. (1971). 'О дистрибутивных структурах конца слова в современном русском языке'. *Фонетика. Фонология. Грамматика: К семидесятилетию А.А. Реформатского*. Москва: Наука. 152-62.

- Bloomfield, Leonard (1984). *Language*. Chicago; London: The University of Chicago Press.
- Kuryłowicz, Jerzy (1960 [1952]). 'Uwagi o polskich grupach spółgłoskowych' *Esquisses linguistiques*. Wrocław; Kraków: Ossolineum; Wydawnictwo Polskiej Akademii Nauk. 221-32. [ロシア語訳 (2000), *Очерки по лингвистике*. Биробиджан: Издательский Проект «Тривиум». 307-23.]
- 東郷正延他編 (1988). 『研究社露和辞典』東京, 研究社 [Togo M. et al. *Русско-японский словарь издательства «Кэнкюся»*. Токио: Кэнкюся.]

The Syllable Structures of Russian: A Phonotactic Description

KOGA Josiaki

In this paper an attempt is made to describe exhaustively the possible syllable structures of Contemporary Standard Russian (CSR) on the assumption that the thorough phonotactic description of each of the first and final Consonant-Clusters (CC) in CSR enables us to draw, less ambiguously and more consistently with the intuition of native speakers than hitherto, the syllable boundaries within any word of CSR without resort to the *ex post facto* criterion of 'sonority.' Appended is a possibly exhaustive list of the CC of CSR.